

国際事業戦略 グローバル経営の推進

2016年5月19日

常務取締役 国際事業部長

若槻 一男



海外連結実績推移・予想

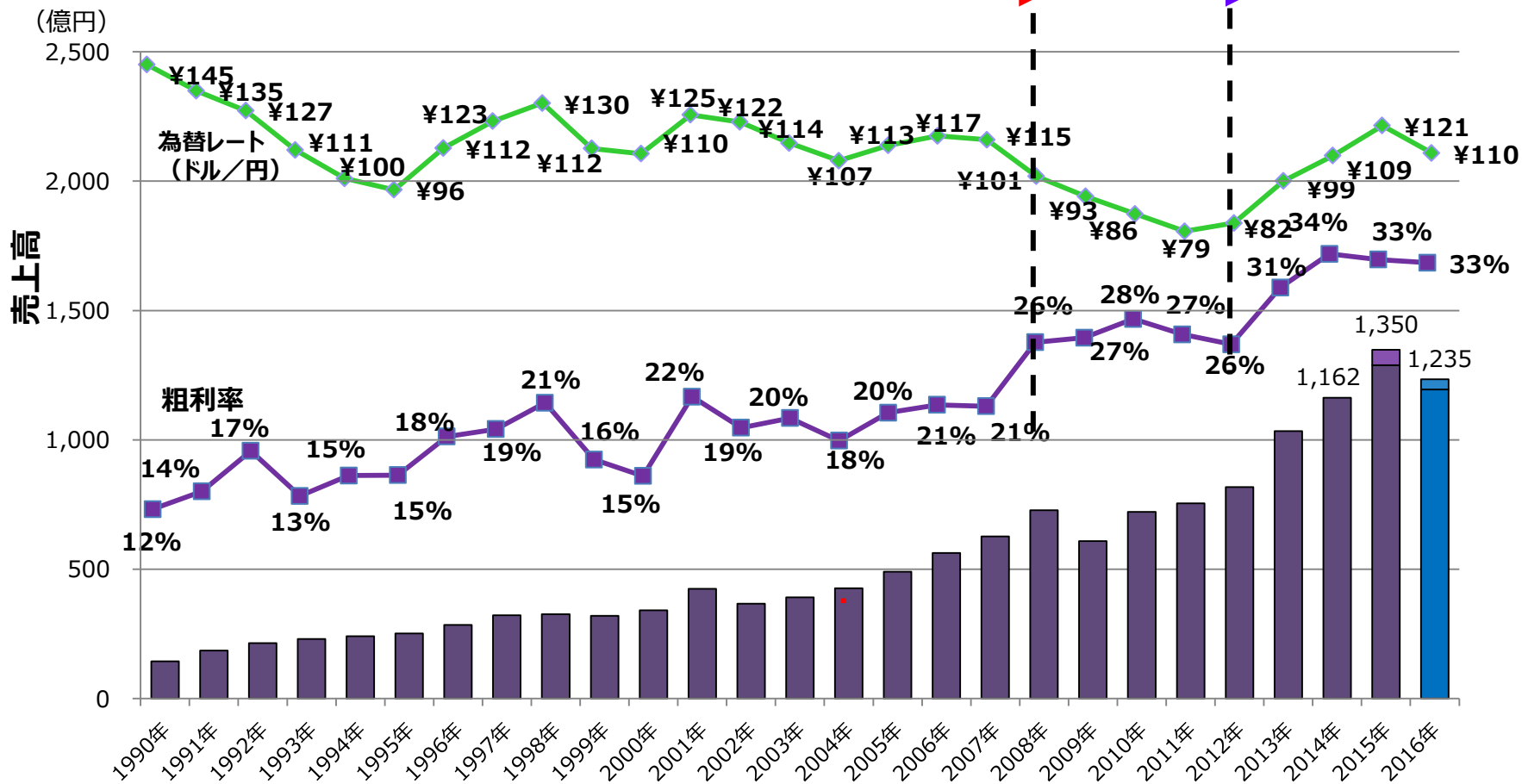
(1990年~2016年)

販売網確立時代

買収・海外新工場 地産地消時代

設立時代

新製品投入時代



国際事業部 売上実績（連結）

売上高 億円

1,500

1,200

900

600

300

0

2013年度

2014年度

2015年度

2016年度(予想)

960

14%増

1,090

18%増

1,291

7%減

1,195

129

26%増

162

2%減

158

24%増

197

営業利益 億円

200

150

100

50

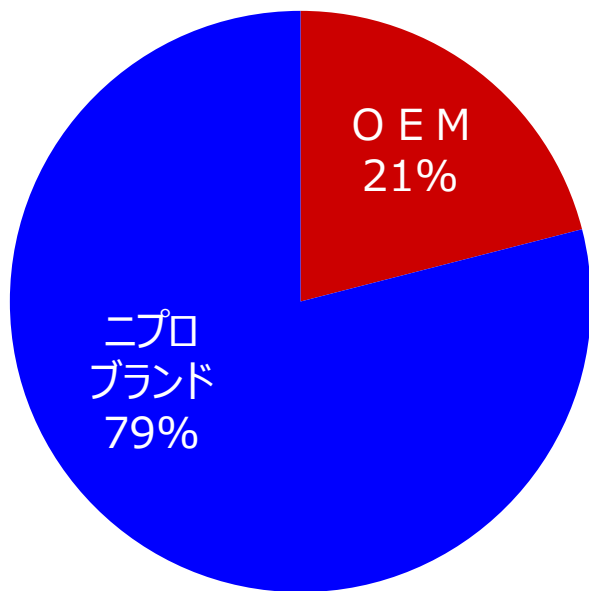
0

■ 売上高

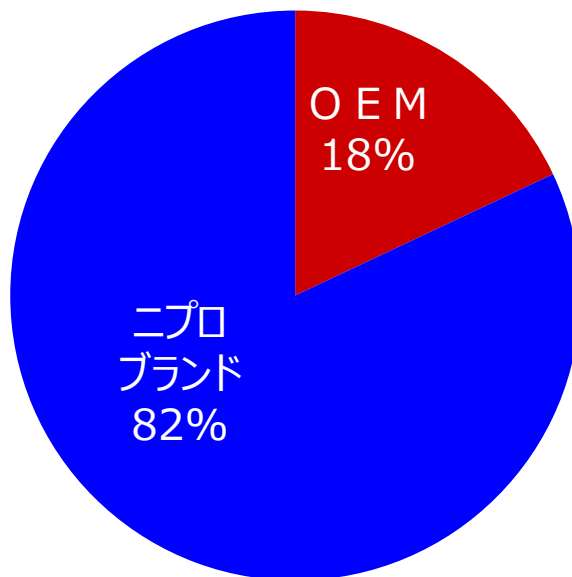
■ 営業利益
(のれん償却前)

ニプロブランド品／OEM品売上高比率の年度推移

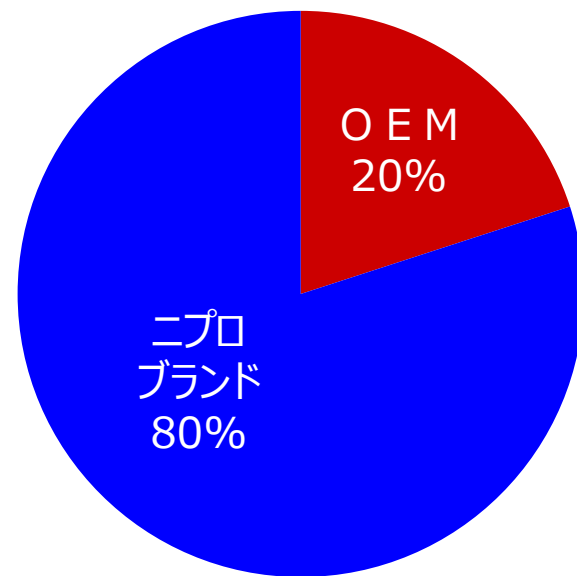
2014年度



2015年度



2016年度予想



国際事業部 地域別売上推移

(単位：億円)

【欧州】



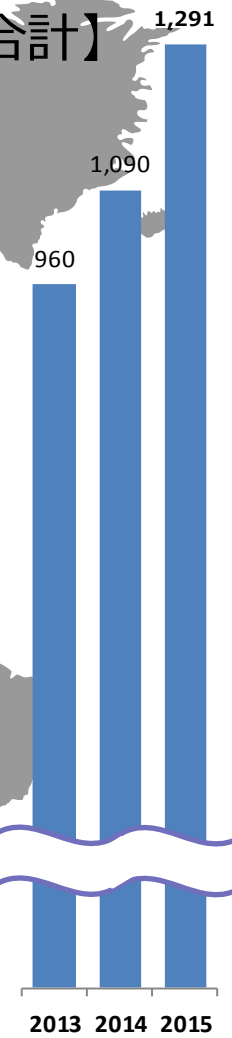
【O E M】



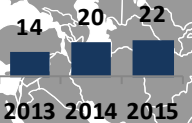
【北米】



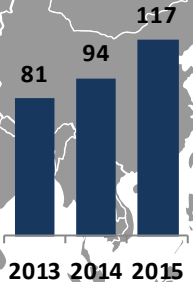
【連結合計】



【中東】



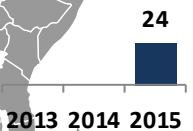
【中国】



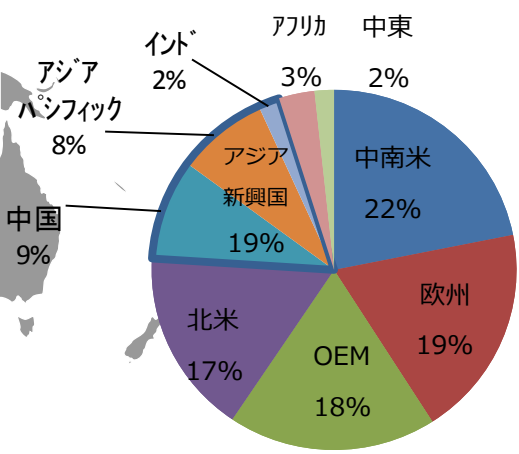
【中南米】



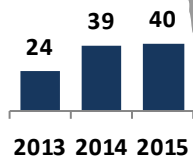
【インド】



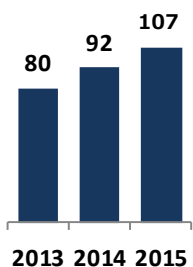
【2015年連結売上】



【アフリカ】

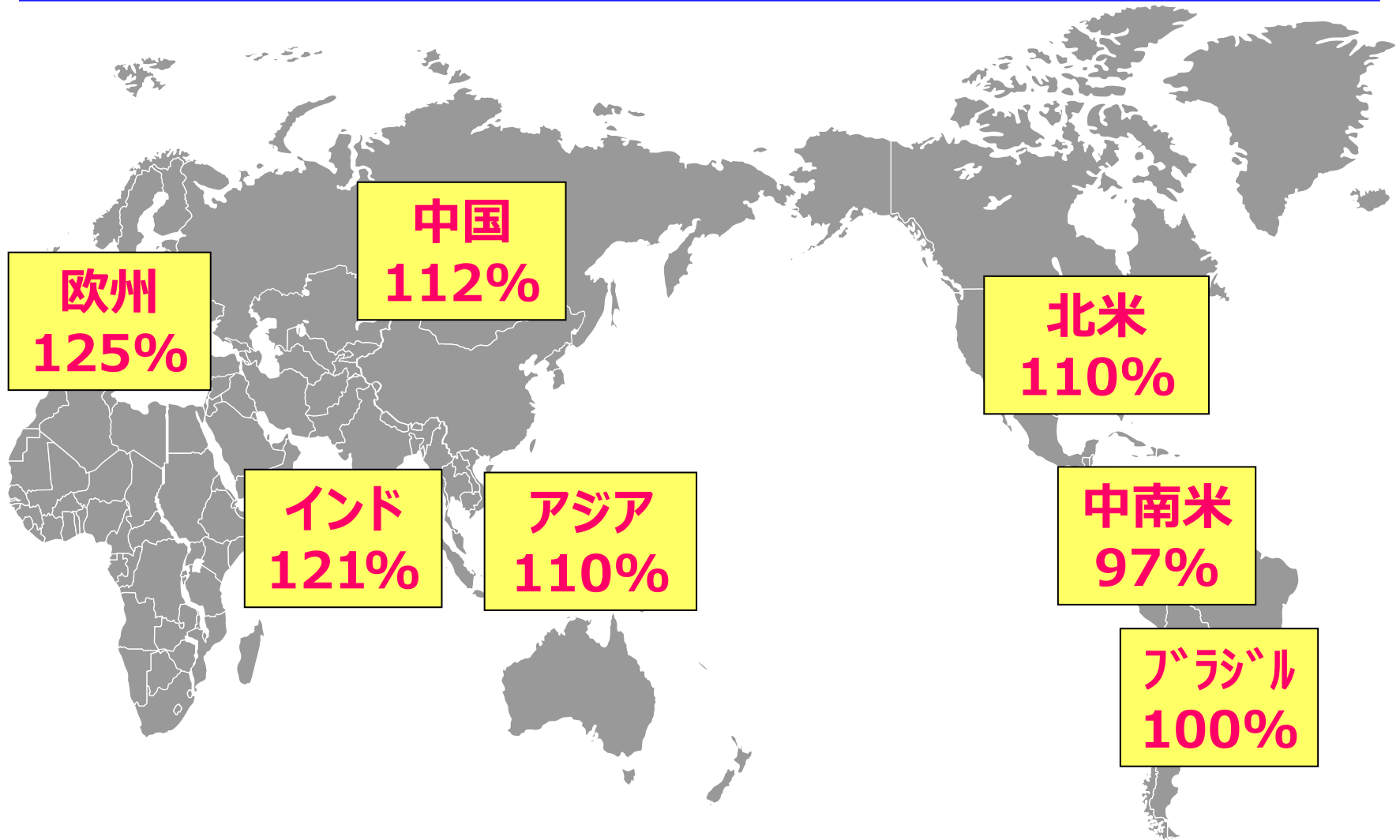


【アジアパシフィック】

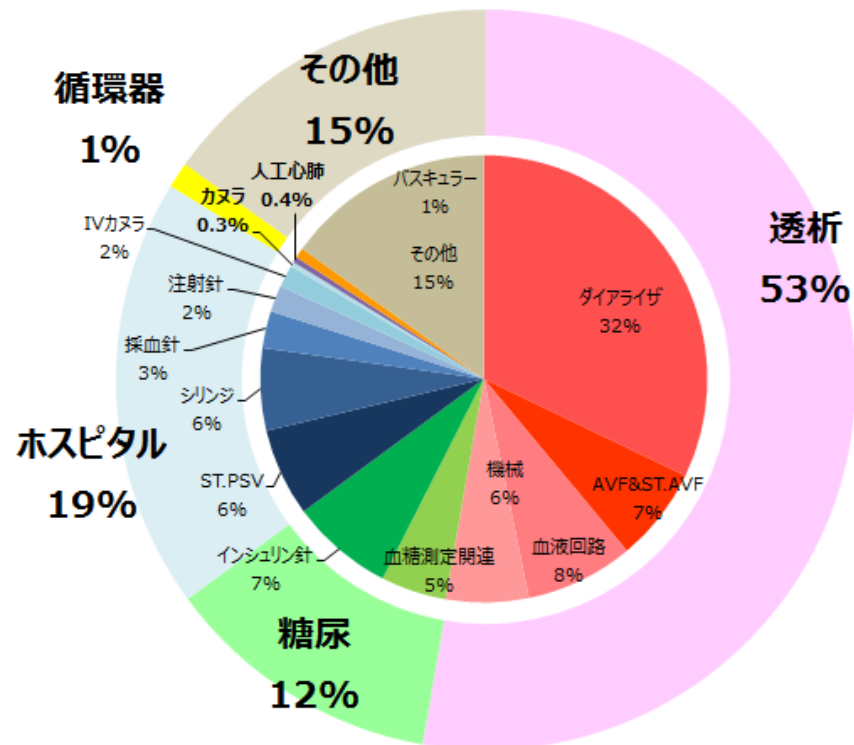
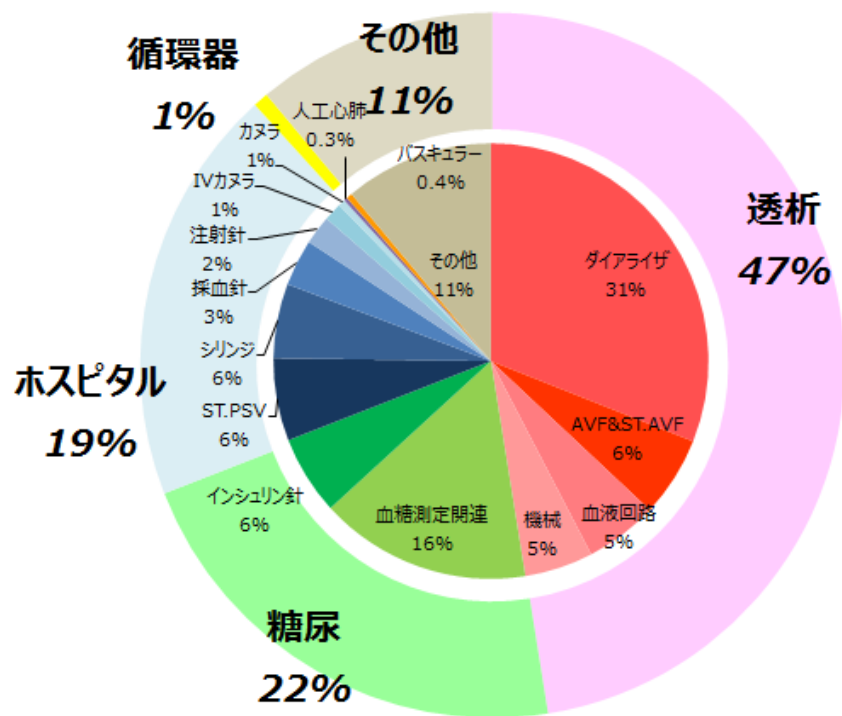


地域別売上 対前年伸び率

(現地通貨ベース)



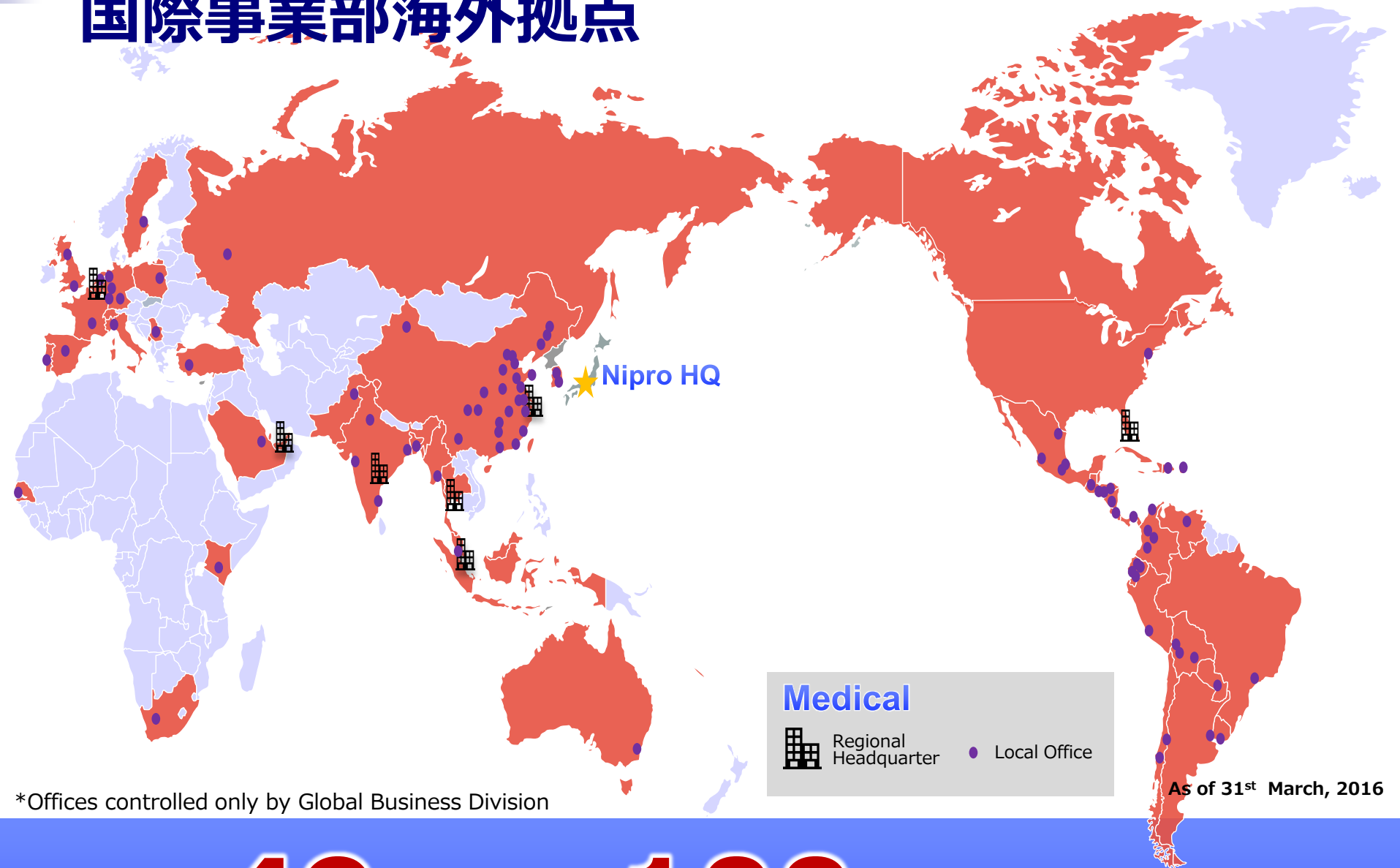
商品構成（売上高 連結累計）



2015年

2016年

国際事業部海外拠点



*Offices controlled only by Global Business Division

49ヶ国に 100 の販売拠点

面と点で攻める

2016年はニプロのインド元年



ニプロインドアコーポレーションPVT. LTD.

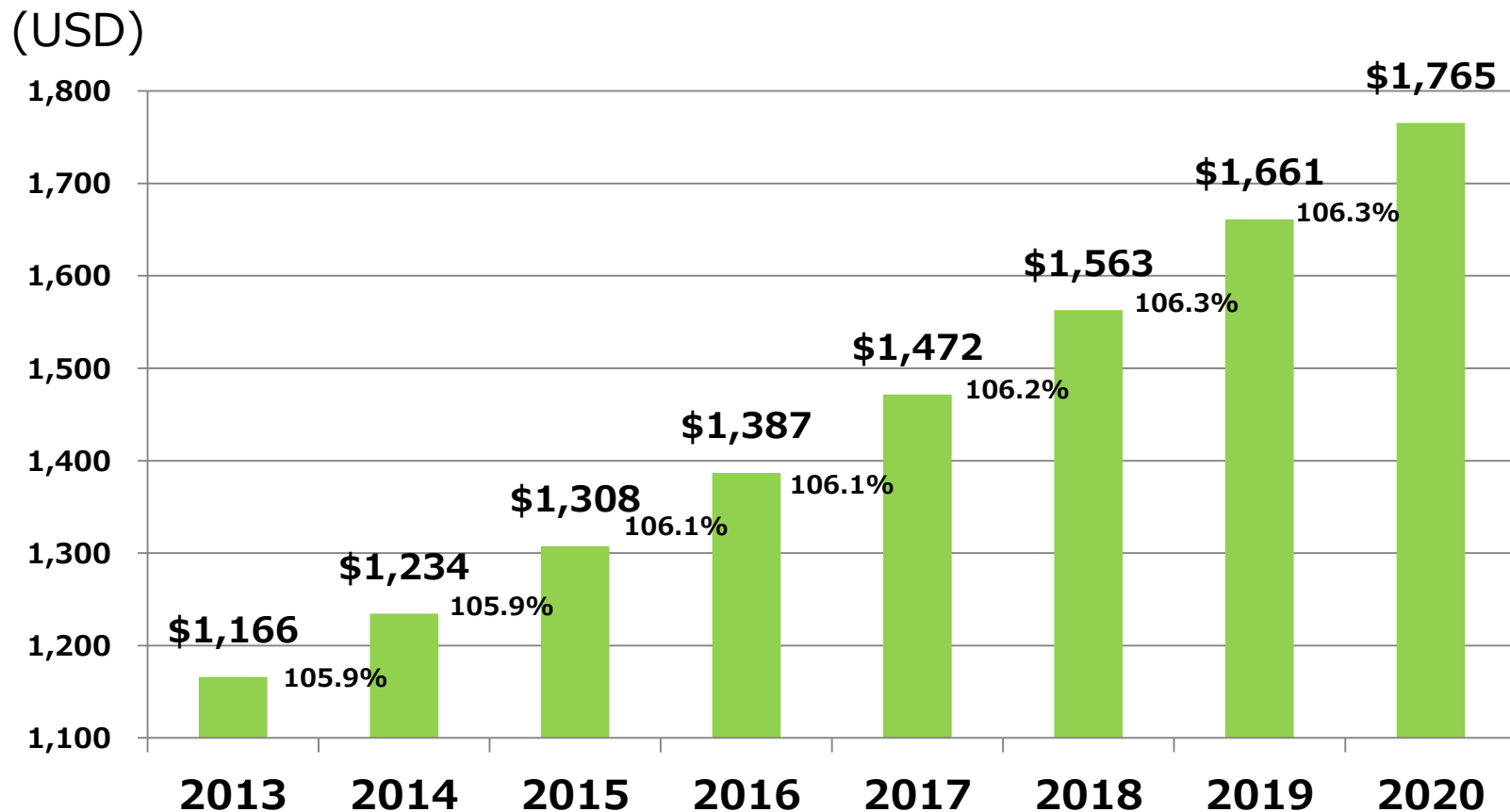


ニプロメディカルインドアPVT. LTD. ハイデラバード本社

インド市場は拡大する

- 現在の推定病床数 約83万床 * 2010年保健家族省年次報告書
人口13億人をカバーするには最低200万床は必要
- 透析患者数 約14万人 (107人/百万人非常に少ない)
- 2016年3月1日 **政府新国家予算発表**
全ての郡 (683) に透析施設を開設する指針
(現在10%程度のみ)
- テランガーナ州 (人口3,500百万人) では、腎臓医主導で、透析治療の全額政府補償、シングルユース、週3回透析が実施される見込み。患者の増加、他州への波及

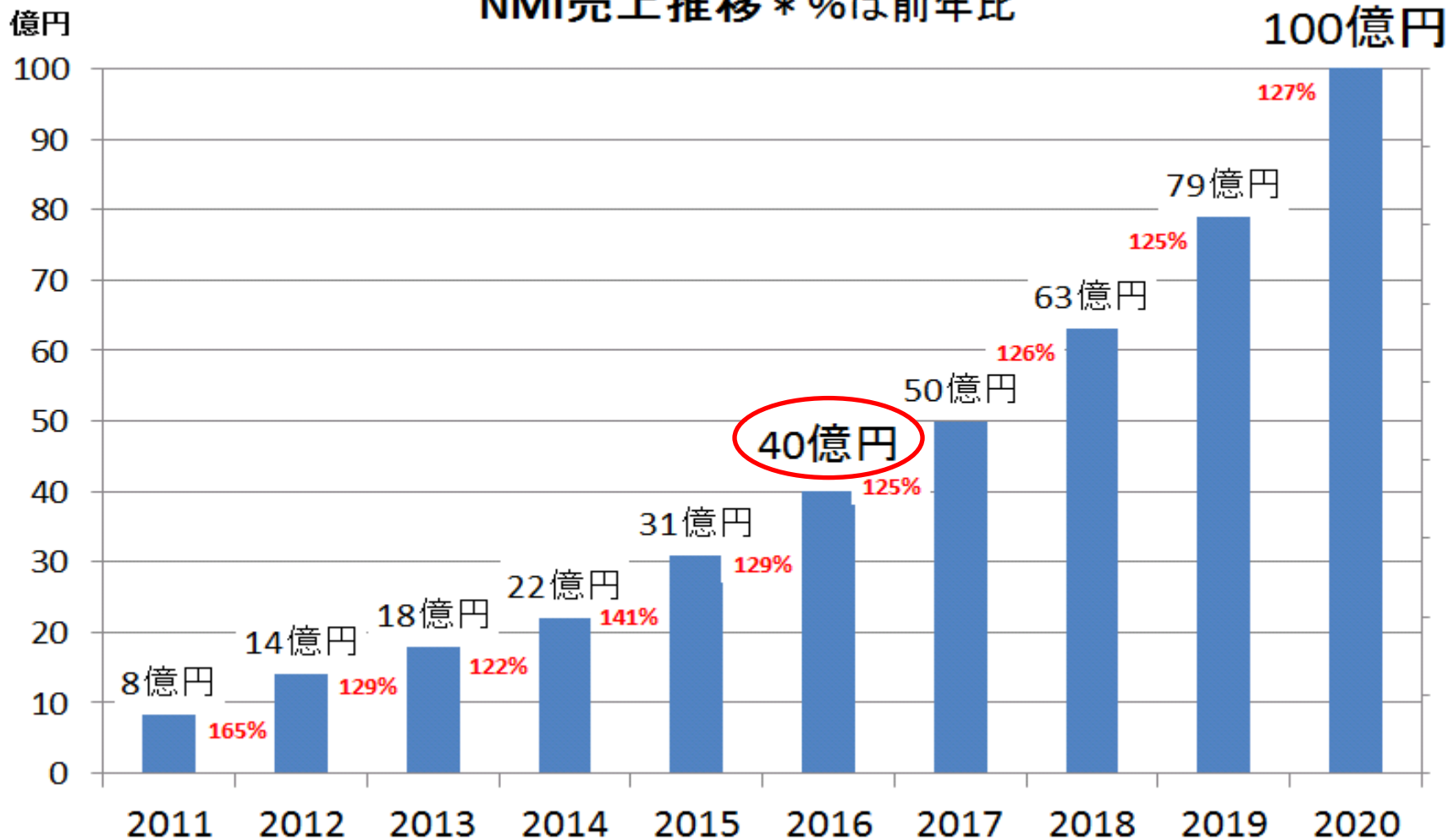
インドの一人当たり実質GDPの推移



出所：2013年国民経済計算マニュアル、2014年以降、IMF推計
為替レート：USD1 = INR67、表中の%は前年比

ニプロインディア 販売目標

NMI売上推移 * %は前年比



2016年前年比129%約40億円の売上達成、2020年100億円到達

2016年はインド元年

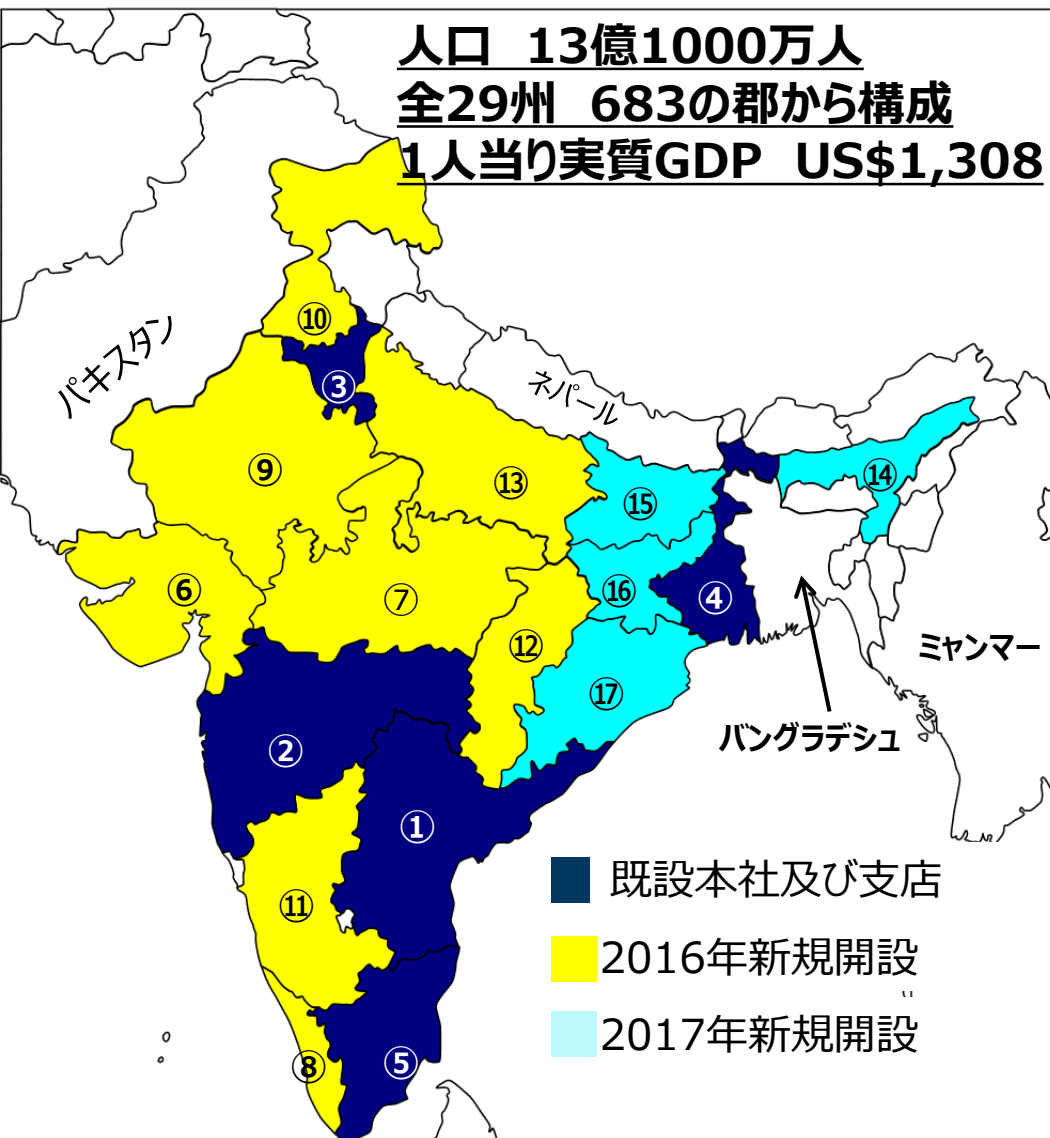
巨大な13億人市場 インドを

“面”（全国をカバーする販売網の充実）
と

“点”（各グループ病院での商売獲得）

で攻略し商売を拡大

“面”で攻略 インド販売網拡大



既設オフィス (5州)

- ①ハイデラバード(HQ)
- ②ムンバイ
- ③デリー
- ④コルカタ
- ⑤チェンナイ

約4億人、33%をカバー

2016年新設オフィス (8州)

- ⑥アーメダバード
- ⑦インドール
- ⑧コチ
- ⑨ジャイプール
- ⑩チャンディガール
- ⑪バンガロール
- ⑫ライプール
- ⑬ラクナウ

+5.5億人46%をカバー

合計13州9.5億人
全人口の79%をカバー

2017年新設予定 (4州)

- ⑭アッサム州
- ⑮ビハール州
- ⑯ジャールカンド州
- ⑰オディシャ州

+2億人17%をカバー

全17州の販売網
人口の96%をカバー



現在の170名体制を今年中に200名、2020年には500名体制とする

“面”で攻略 インドでの商売（一般消耗品）



上・右：イトールにある1,500もの卸が入居する、
アジアでも有数の問屋ビル

下：ライプールにある問屋ビル約100社が入居。ニプロ商品
を扱う代理店も入居している



各州の自社倉庫からこれらの
卸へ直接供給
円滑な納品、州間の税金、
輸送費用の削減で
商売・利益拡大



“面”と“点”で攻略

Public Private Partnership (PPP) 官民協業

【目的】

政府が民間企業との協力により、初期費用を抑えた透析施設の開設を行う

【役割】

民間企業

透析装置の供給・設置・メンテナンス
水処理装置の設置・メンテナンス
透析に要する消耗品の供給
透析技師、看護師等のマンパワー

政府病院

透析医師
透析施設設置場所
透析施設運営に掛かる水道光熱費

政府は治療回数に応じた透析費用を民間企業に支払う
透析施設開設に必要な透析関連装置は民間企業が投資

政府は低い初期費用で透析施設の開設が可能

全国に先駆け、ニプロは西ベンガル州でPPPによる34（合計230台の透析装置）
の透析センターを開設済み

“面”と“点”で攻略 インド ラジャスターン州

Mrs. Vasundhara州知事による透析センター開設セレモニー 【2016年4月2日 PPPプロジェクト】



ラジャスタン州ジャラワルの位置



州知事による記念碑序幕とスピーチ

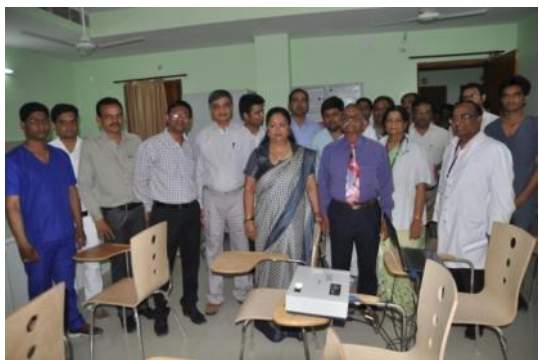


透析室の様子

ラジャスターン州との**官民協業 (PPP)** により、同州Jhalawar市に透析装置
12床の透析施設を開設

2016年4月2日州知事による開設記念式典を開催

記念式典では、知事から**6都市に7つの透析センターを開設**する計画が発表された



セレモニーを伝える地元紙



“点”で攻略 Narayanaグループとの関係強化



インド全土で現在28病院を展開するNarayana Health院長のDr. Devi Shettyと面会。
日本経済新聞2016年2月23日及び2016年3月20日の朝刊でも紹介されていた医師で、マザーテレサの主治医でもある。

一日に40の開胸手術を実施しているインドでも有数の病院。ニプロも開発中の人工肺の治験を実施いただく予定。

透析は全病院で242床あり、ダイアライザ等の透析消耗品はニプロを使用いただいている。

“点”で攻略 透析関連商品

透析患者数 : 14万人
透析治療回数 : 1500万回/年
ダイアライザ市場 : 290万本/年
血液回路市場 : 360万本/年
稼働透析装置台数 : 17,000台
ニプロのダイアライザマーケットシェア 32% (第2位)

各地で透析センターの新規開設が加速 病院グループとのコラボレーションでシェアの拡大を行う

Aster Medcity

ケララ州



Aster
Medcity

インドで8病院を展開しており、中東にも進出
先端設備を備える施設で現在は月1800回程度の透析回
数。今後、各地にセンター開設予定

Heritage Hospitals

ウッタルプラデシュ州 (UP州)

人口2億人を抱えるUP州の主要都市
ベラナシに本部を構える病院グループ
今後5年で透析施設を100ヶ所
新設する計画を持つ

地場に根差し、政府とのコネも強い。
ベラナシでまずニプロとの最初の透析センター
(10床~20床)を設置する



Heritage

HOSPITALS



“面”と“点”戦略でインドでのニプロの存在感を示し
2020年売上100億円を達成

ご清聴ありがとうございました